



SCI Agritech @ インタビュー編

Vol.17

(2024年 2月発行)

NEWSLETTER

オーガニックに付加価値をつける 有機栽培農家さん視察訪問&インタビュー

茨城県つくば市で有機栽培を展開する「ふしちゃん

ファーム」様をJICA筑波研修で訪問。農場の特色、運営方針、販売戦略、資金の調達と管理、広報活動、そして今後の展望についてご講義を頂きました。「高品質・適正価格・安定供給」できる有機農業のご活動から、大きな学びを得た視察でした。

基本情報

茨城県つくば市で有機農業を営む：(ふしちゃんファーム様)

- 伏田直弘様：代表取締役、兵庫県三田市出身。農業に興味を持ち、大学で農業経営学の修士号を取得。初めての就職は大手外食チェーン。その後、金融業界で勤務後、2015年1月から茨城県つくば市で農業をスタート。ビニールハウス58棟(14,000㎡)の規模で、全て有機野菜(小松菜、水菜、ほうれんそう、ロメインレタス、リーフレタス、コリアンダー、イチゴ)を生産。

インタビュー内容

SCI 農業を始めたきっかけを教えてください。



伏田さん

大学及び大学院で農業経営学を学んだ後、大手外食チェーンに就職しました。そこで、農業部門の立上げに関わり、機械の扱い方や土づくりなど農業生産に必要なノウハウを学びました。その後、金融業界に転職して融資業務を通じて、金融や経営管理の知識を習得後2015年に就農しました。

SCI ご経営されている農場について、どのような特徴がありますか？



伏田さん

年間を通じて有機野菜を生産しています。土づくり、温度・水管理、病害虫管理を徹底しています。有機JAS、JGAPやASIAGAPの認証も取得しており、高品質・適正価格・安定供給にこだわっています。

SCI 農場の運営における方針は何ですか？



伏田さん

運営は、「仕組み」「販売」「生産」の三つの柱に重点を置いています。特に、仕組みの整備に力を入れることで、効率的な経営を目指しています。

SCI お客様への販売戦略について教えてください。



伏田さん

有機栽培という付加価値のもと、適正価格で提供することを心がけています。また、販路の多様化にも力を入れ、様々なチャネルを通じて販売しています。

SCI 資金調達や管理についてのアプローチは？



伏田さん

農業金融機関との連携や、適切な費用管理によって、安定した経営を維持しています。特に、変動費と固定費のバランスに注意しています。

SCI 広報活動ではどのような取り組みをされていますか？



伏田さん

ウェブサイトやSNSを活用したデジタルマーケティングのほか、地元メディアとの連携も積極的に行っています。また、PR漫画を使ったユニークな取り組みも進めています。

SCI 最後に、今後の展望について教えてください。



伏田さん

農薬や化学肥料を使わず自然の力を借りて作物を育む有機野菜がそうであるように、「ふしちゃんファーム」の作物もその作り手も「多様性」を尊重しながら世界を目指し成長していきたいと思っています。

【後記】視察を通じて、伏田さんの情熱と有機栽培に対する活動に刺激を受けました。伏田さんの農業経営アプローチや持続可能な農業への取り組みは、研修員に多くの示唆を与えてくれました。私たちも、伏田さんの取り組みから学び、自らの仕事に活かしていきたいと思っています。



JICA研修講義の様子



周年栽培を行うビニールハウス



計量作業を効率化する袋詰め



伏田代表への研修員からの質問